



和寒町商工会青年部

副部長

五十嵐 英次

(いがらし えいじ)さん

地域に根ざした活動から町の活性化をめざして

これまでの道のり

旧朝日町(士別市)に生まれ、中学校まで同町で過ごし、理系分野が得意であったことから、旭川工業高等専門学校(旧朝日町)の化学科に進学した。しかし、叔父にあたる小児歯科の教授をしていた五十嵐清治さんの影響から、歯医者になることを決意し、5年制の学校を3年で退学し、北海道医

療大学の歯学部へ進学した。

人から「ありがとう」と言われる仕事に就きたい、感謝される仕事があったらいい、感謝から考えていた五十嵐さんは、勉強や研究活動を必至で行い、同大学を首席で卒業。周囲には裕福な学生も多く、一般的な家庭から在学する人は少なかったという。また、学費もかかるため、飲食店な

どの様なアルバイトも経験。

生活費を稼ぎながら、誰にも負けたくないという雑草魂で学生時代を過ごしてきた。

地域活動へ積極的に参加

そんな学生時代を過ごしてきた五十嵐さんは、卒業後、様々な歯科医院で歯医者として勤務してきた。

そして、平成16年10月に町立歯科診療所に勤務。平成18年4月からは和寒歯科医院として開業することとなる。

開業後は、地域の皆さんに受け入れてもらえるかといった不安も大きく、地域の行事にも積極的に参加。そして現在、商工会青年部の副部長を務めている。

近年では、子どもたちからも声をかけてもらえるようにもなった。やさしく迎えてくれた町民の皆さんに感謝しているという。

歯学博士の学位を取得

歯医者としての資格を取得してからも、研究活動を続け

てきた五十嵐さんは、口腔Vellione11a5菌種の研究を5年間続け、その成果が認められ、平成21年9月に歯学博士の学位が授与された。

この研究により、これまで菌種レベルでの解析が困難となっていた手法が確立され、歯周病や虫歯などの治療に有効に活用することができるようになるという。

勤務を続けながら歯学博士の学位が授与されることは極めてまれであり、北海道医療大学でも94人しか授与されていないもの。今後歯医者としての研究活動を続けていきたいという。

地域の活性化をめざして

これからも地域に根ざした行事やイベントに積極的に参加し、地域が活性化してくれるとうれしい。

そのためにも、今後あらゆる活動に取り組んでいきたいと語ってくれました。



五十嵐 英次さん[商工会青年部副部長] 38歳  
和寒町字西町 0165-32-3242 出身:士別市(旧朝日町)  
経歴:1983年 朝日町立糸魚小学校卒業 1986年 朝日中学校卒業  
1989年 旭川工業高等専門学校中退 1995年 北海道医療大学卒業  
2004年 町立歯科診療所勤務 2006年 和寒歯科医院開業  
2009年 歯学博士の学位取得  
趣味:ギター、野球